

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	成人の腹壁癒痕ヘルニア患者に対して管理栄養士の介入が与える影響の調査
研究責任者	聖隷浜松病院 栄養課 清水幹生
研究実施体制	聖隷浜松病院 上部消化管外科 宮木祐一郎、栄養課 鈴村里佳、総合診療内科 本間陽一郎
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2027年 3月 31日
対象者	2023年7月から2027年3月までの間に当院上部消化管外科に通院し、入院にて腹壁癒痕ヘルニア手術を実施し、かつ栄養指導を行った患者さん
研究の意義・目的	腹壁癒痕ヘルニアのリスクとして肥満が重要なリスクと考えられていますが、今まで肥満に対する介入が行われておらず、また管理栄養士による継続的な介入が実施されていません。そこで、今回、腹壁癒痕ヘルニアの栄養介入として、体重を指標とした肥満に対する栄養介入を管理栄養士が行う事で、介入前後でどの程度の体重変化が見込めるのか、調査を行います。今回の研究で、管理栄養士の肥満に対する介入で見込める体重の減少量が術前に予想出来れば、腹壁癒痕ヘルニアの再発のリスクが高い集団の抽出が可能となると考えています。また、管理栄養士の介入が体重減少率の上昇に寄与すると予想されます。
研究の方法	18歳以上でBMI(Body Mass Index):30以上または25以上でかつ基礎疾患に糖尿病、高血圧、脂質異常症のいずれかを有する患者を対象とし、診療録より以下の項目の調査を実施します。年齢、性別、身長、体重(外来初診、入院時、外来再診時)、摂取エネルギー量(外来初診、入院時、外来再診時)入院日数、外来初診時から入院時までの体重減少率、喫煙の有無、上記疾患以外の基礎疾患、服薬状況、居住状況、調理スキル、栄養状態(L/D)、ADL) 診療録より調査できなかった項目は栄養指導時に確認します。 以下選択バイアス(基礎疾患による食欲の減少がある患者、消化管の栄養吸収を妨げる疾患がある患者、精神疾患による食事量の減少がある患者、代謝亢進の高い疾患がある患者、80歳以上の患者(※高齢者肥満症診療ガイドライン 2018より))は対象より除きます。解析方法:Fisher 検定、カイ二乗検定、多変量解析など
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただ

	くことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 栄養課 (氏名)清水幹生 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日